



1155 1157 ) mp  
3926407  
422 107821. 10751  
222 11362

運用記録

全般の状況の統括報告 } 次  
1199-1101は 222  
1111 2111 1111 1111 ?



**イラク復興支援群活動報告**

18. 5. 18

イラク復興支援群

## 報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

○ (7) 03551000

● サマーワ主力

○ 人員・武器・装具具状なし

○ 警備態勢：[REDACTED]

◆ 医療

ー 外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

・ 学校の改修：

ー 4カ所（サマーワ×2、ヒドル、ルメイサ）での役務作業

・ 道路の改修：

ー 3カ所（サマーワ×2、ワルカ）での役務作業

・ P H C の改修：

ー 5カ所（サマーワ×5）での役務作業

・ 給水関連施設の改修：

ー ワルカポンプステーション完成点検及びワルカ付帯道完成点検後の確認を実施

別紙第1「ワルカポンプステーション完成点検及びワルカ付帯道完成点検後の確認」

ー 6カ所（サマーワ×2、ワルカ、ルメイサ×2、サマーワールメイサ間）での役務作業

・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：

ー 4カ所（サマーワ×2、ヒドル、ルメイサ）での役務作業

・ 燃料関連施設の改修：

ー 1カ所（サマーワ）での役務作業

○ (7) 03551000

○ 宿営地関連施設の整備

- ・ 宿営地敷水
- ・ ゴミ回収
- ・ 尿尿汲み取り
- ・ 冷凍・冷蔵コンテナメンテナンス
- ・ 環境維持作業
- ・ 発電機整備
- ・ コンテナ整理
- ・ コンボイ作業

○ 5月18日現在の雇用人員

計588名（累計：462, 013名）※ 細部別表「雇用者」参照

○ その他（特記事項）

- ・ 宿営地において、プサイヤ井戸供与式を実施  
別紙第1「プサイヤ井戸供与式」
- ・ 活動地域偵察を実施（ワルカポンプステーション、新ルメイサ浄水場）
- ・ 10次群第2波、クウェートにおいて、慣熟訓練（射撃訓練、語学教育）を実施  
別紙第2「10次群第2波、慣熟訓練」
- ・ 供与RO浄水機により給水車延べ24両に対し約324t（約72,000人分）が配水された。  
5月18日まで計約68,084t（約15,129,777人分）配水（4.5リットル/人・日換算）

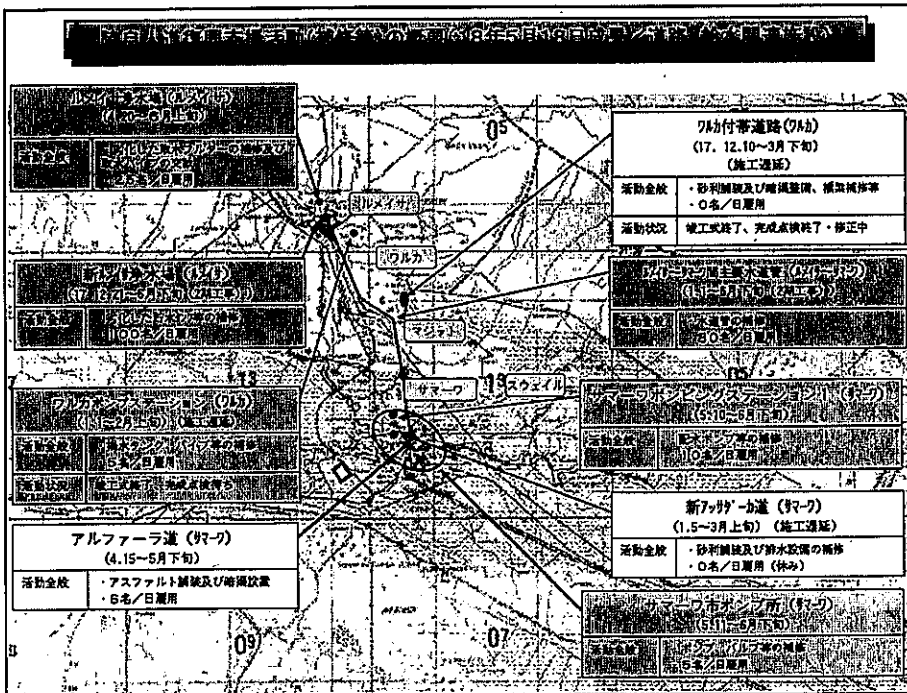
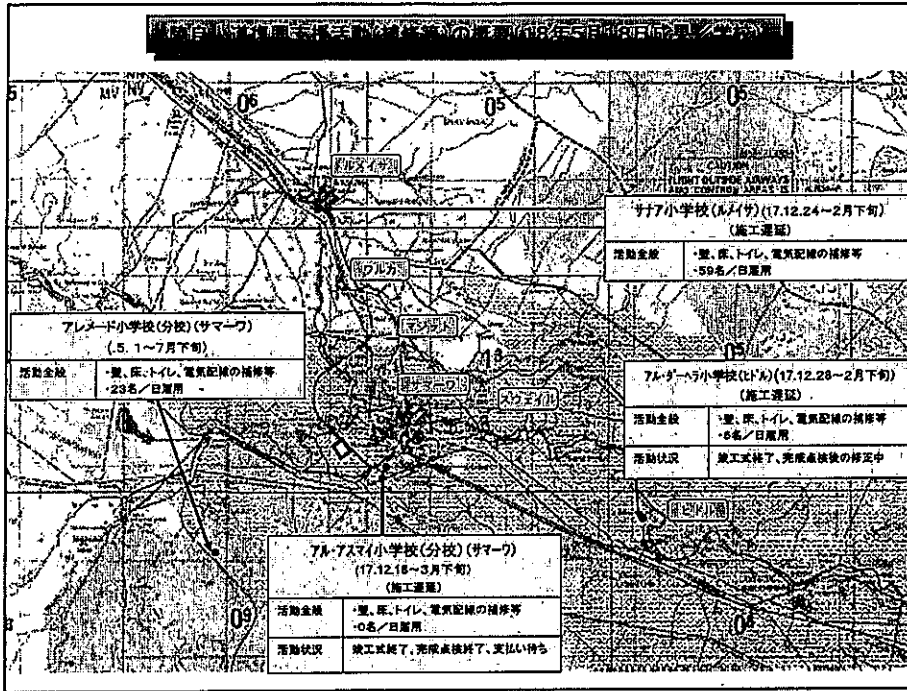
最下地盤

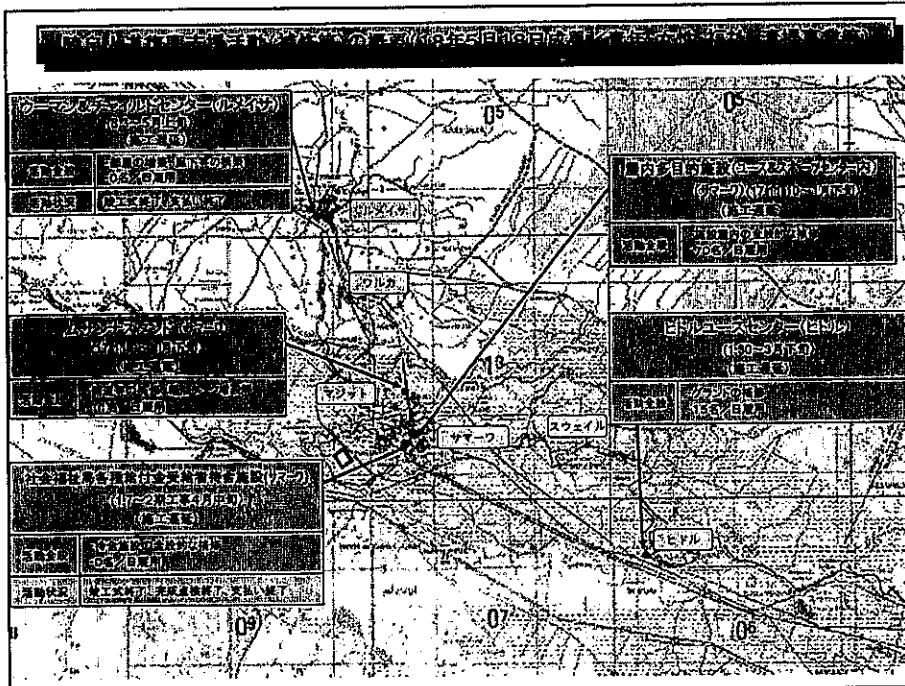
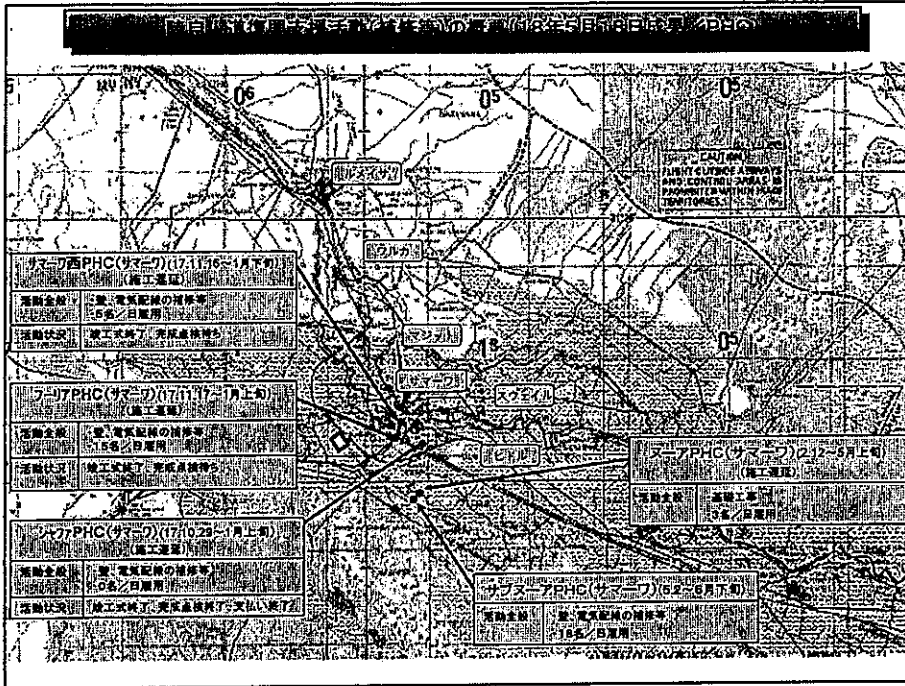
**別表**

- クウェート分遣班
  - ・ 10次群第2波に対する慣熟訓練支援（射撃訓練、語学教育）
  - ・ 9次群第1波の部隊貨物輸送
  - ・ 弾薬及び装備品交付・回収支援
  - ・ 部隊展開支援準備
  - ・ コンボイ準備
  - ・ 現金預替
  - ・ ナビスタ国境通過支援  
別紙第2「ナビスタ国境通過支援」
- バクダッドLO
  - ・ 連絡調整及び情報収集
- バスラLO
  - ・ 情報要求対応及び定例情報収集
  - ・ 定例会議出席
  - ・ MJLC（多国海軍統合兵站会議）参加準備
- スミッティLO
  - ・ 情報要求対応等
  - ・ 各種業務調整等
  - ・ 各種ミーティング等
- クウェート大使館LO
  - ・ 連絡調整及び情報収集

別表

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	41	406	588
	学校修復	88		
	道路補修	6		
	青年・スポーツ・女性	85		
	給水関連	175		
宿営地内役務	燃料	11	182	
	通訳	64		
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	舟医士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	耐震性強化施設補修	20		
コンテナメンテナンス	5			





上段:増人員数		人員現況																				下段:減人員数	
区分	所屬人員	サマーワ		クウェート		バクダット		バスラ		キャンプVA		タリル		出陣人員(軍上)		出陣人員(軍上)		出陣人員(軍上)		出陣人員(軍上)		備考 (備考) 総員の実数及び 増減人員の実数	
		増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員		
9次支援隊	481	481	0	366	0	114	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	481	0	0	先行要員6名(KW) 1名100名(KW) (タリル)	
10次支援隊	481	481	0	135	0	239	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	374	0	107	2名237名KW 1名2名 (KW)		
9次要務班	10	10	0	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	1名3名(KW)		
10次要務班	10	10	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	4	2名3名KW		
要務支援隊	112	76	0	70	26	31	5	5	4	4	1	1	2	0	0	0	113	0	0	0	(SAO) (KW) (タリル) (KW)		
要務支援隊	18	12	0	11	6	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	18	0	0	0	(タリル)		
合計	1112	1070	0	592	32	356	5	5	4	4	1	1	4	0	0	0	1002	0	111	0			

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む  
本日のTV電話使用着数:0名、FOMA使用着数:34名 79分(9次群TV電話合計:1名、FOMA合計:2832名)

		装備の現況(車両等)																		
項目		車 両																		
		小型	中型	救急	軽甲	高機	WAPC	業4	マイク口	施設	水タンク	燃料タンク	冷凍車	セミトレ	大型	特大	浄水セット	重レック	溶接車	修理車
IQ	サマーワ	12	10	2	51	18	6	1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	176
	シャイバ																			
	バスラ					1														1
	タリル					1														1
	バクダット																			
	計	12	10	2	51	20	6	1	22	6	4	3	2	23	8	3	2	1	2	178
KW	キャンプVA	2			10	1	1	2	1	1	1	1	2	14	1	1				38
	キャンプアリアン																			
	計	2			10	1	1	2	1	1	1	2	14	1	1					38
総計		14	10	2	61	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	216

### 装備の現況 (武器)

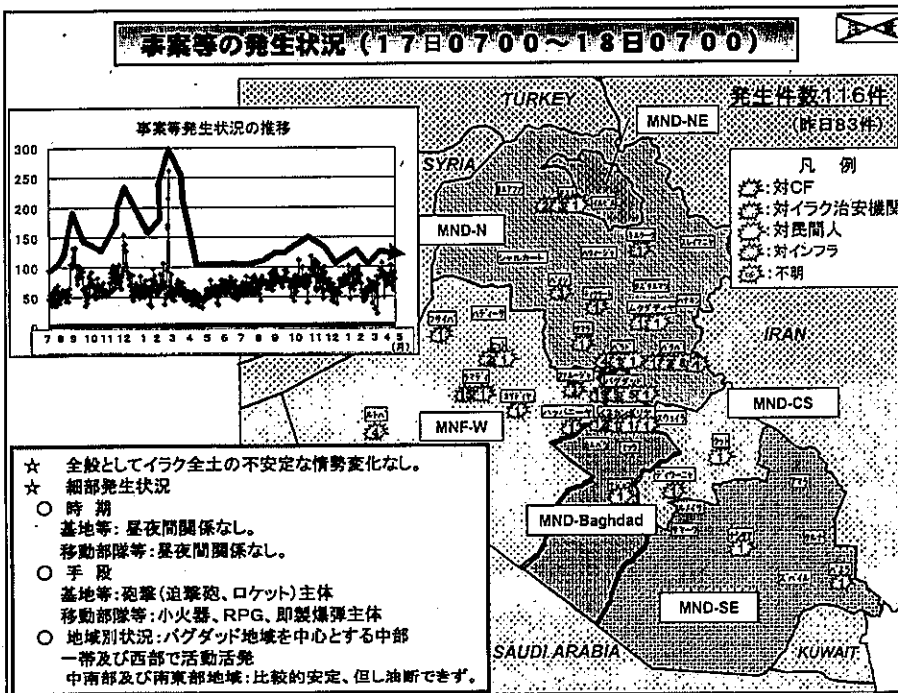
項 目	武 器													
	拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃							
I Q	サマーワ													
	シャイバ													
	バズラ													
	タリル													
	バクダット													
	計													
K W	キャンブVA													
	キャンブリアフジャン													
	計													
総 計														

### 装備品等の可動・不可動の状況①

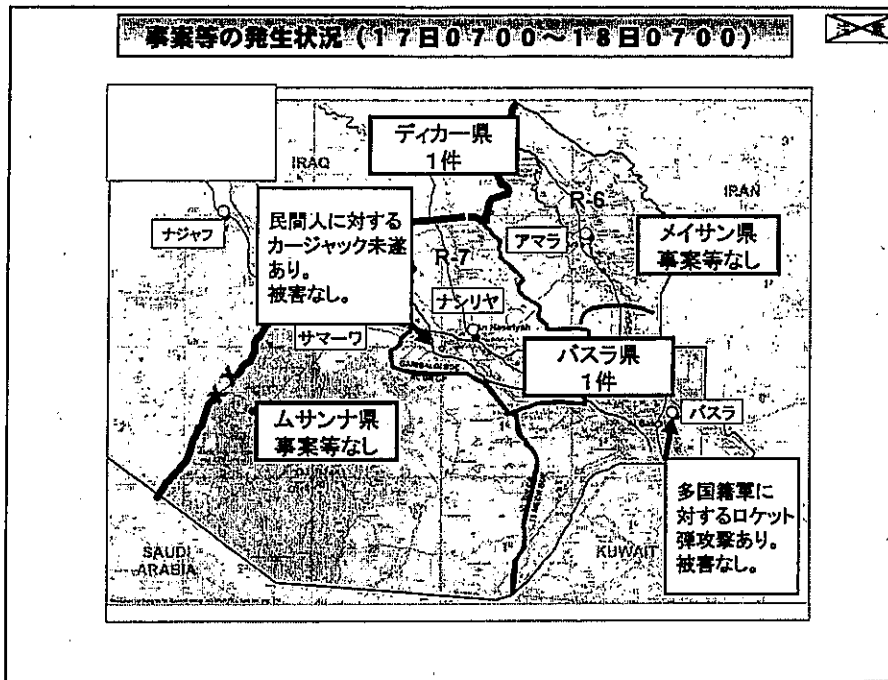
項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	216	214	1	1	冷凍冷蔵庫×1 エンジン不良	部品待×1
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	1	0	定期整備	後送中(クウェート)
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	20	25	50	レギュレータ等不良×20 オイルセンサー不良×4 シリンダ破損×1	部品待×25
発動発電機(25kw)	67	39	11	17	ガバナ等不良×10 ノズル不良×1	部品待×11
発動発電機(60kw)	59	48	4	7	噴射ポンプ不良×2 ピストン不良×1 ファン不良×1	部品待×4
発動発電機(180kw)	17	15	2	0	ガスケット損傷×1 エンジン不調×1	部品待×2
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良×1	後送待×1

### 装備品等の可動・不可動の状況②

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考	
浄水セット	官品	4	3	1	0	制御盤不良×1	部品待×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							







**バスラにおけるCWIED事案(5.18)-1**

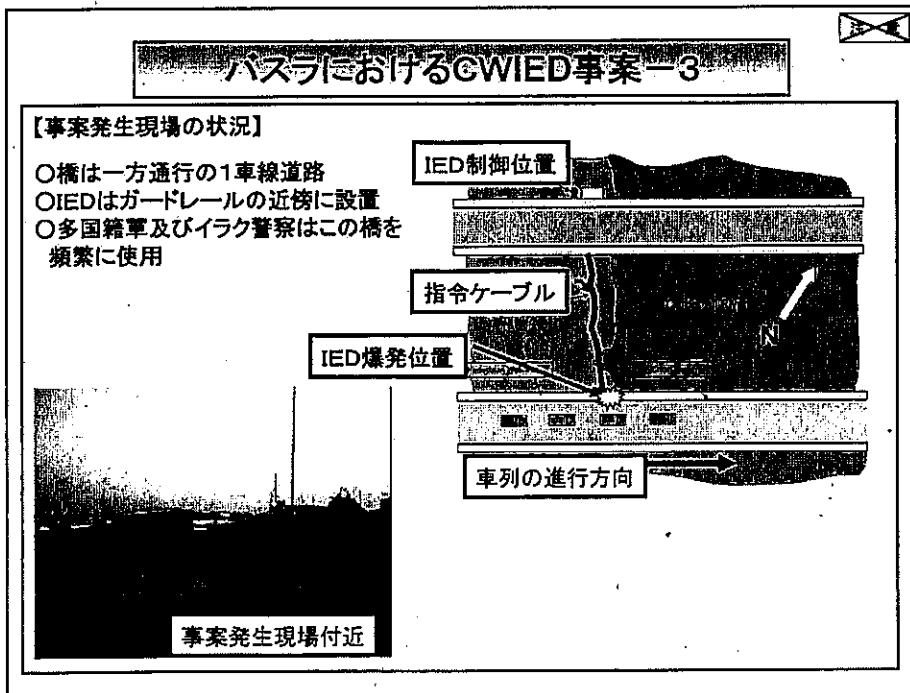
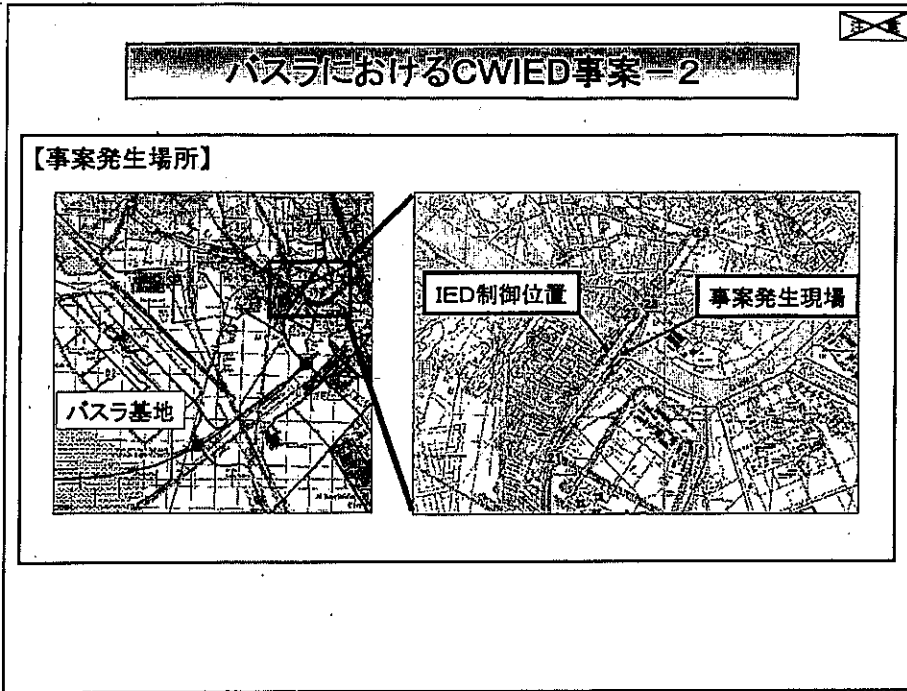
**【概要】**

- 18年5月13日2330、バスラにおいて巡察を実施中の[ ]の[ ]が、橋梁を通過中にIED攻撃を受け、[ ]兵士2名死亡、1名が負傷した。

**【関連情報】**

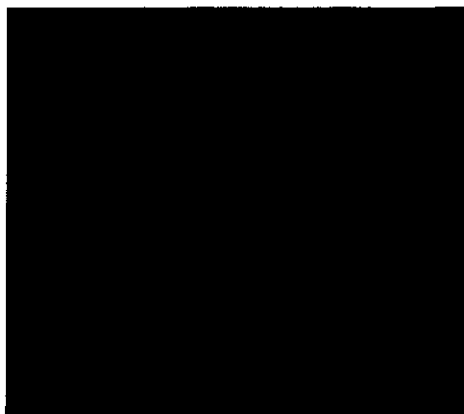
- 車両が[ ]を装着していたかどうか現段階では不明
- IEDはEFP方式

CWIED=Command Wire Improvised Explosive Device(有線起爆式IED)

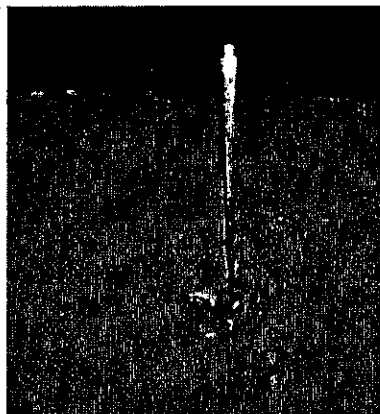


### バスラにおけるCWIED事案-4

#### 【被害の状況】



被害を受けた車両とIEDとの  
予想される位置関係



IEDの破片が真散した状況

### バスラにおけるCWIED事案-5

#### 【コメント】

- ◎ 〇のバトロールがIED攻撃を受けた場所は、〇及びイラク警察が頻繁に使用する経路であり、〇等のバトロールを狙って仕掛けられた可能性が大。特に、橋梁にIEDを仕掛けた例はイラク南東部4県においては珍しい例。橋梁は、迂回等の回避行動が難しいため、通過にあたってはよく注意する必要。
- ◎ EFP形式のIEDと組み合わせて有線起爆方式がイラク南東部で使用された例は珍しく、今後同様の手段がイラク南東部の他の地域で使用される可能性も否定できないため、注意が必要。
- ◎ CWIEDは、〇影響されない。〇装備した車列であっても、周囲をよく監視・警戒する必要。

17. う

米上段戦と中野会 122 記  
 - 12 年 10 月 20 日  
 3701219 220000 22

イラク全土の全般情勢評価(5.18)		
(4月29日変更)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続</li> <li>●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性</li> <li>●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性</li> <li>●サマラでのモスク爆破以降の、宗派間対立が継続するとともに、シーア派モスク等への攻撃の責任を多国籍軍に転嫁する動きが継続</li> </ul>	8/26追加 8/8追加 4/13修正
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク移行行政権)を継続(急激な過激化への兆候はなし)</li> <li>●アンサル・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性</li> <li>●ザルカウィ関連Gpの活動が活発化</li> <li>●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける</li> <li>●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続</li> </ul>	9/15追加
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施</li> <li>●新政府での所望の閣僚ポストを獲得できない場合、強硬路線に転換する可能性</li> </ul>	4/29修正
トレンド (特異事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)</li> </ul>	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価(5.18)		
(5月12日変更)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●比較的安定だが、多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃が発生</li> <li>●バスラ県、メイサン県に所在した簡易爆弾技能者がディカー県に流入し、活動している可能性。さらにこの一部がムサンナ県にも流入した可能性</li> <li>●バスラ県、メイサン県、ディカー県に加えてムサンナ県においても簡易爆弾による攻撃が発生</li> <li>●バスラの不安定な治安情勢は継続する可能性</li> <li>●サマラでのモスク爆破以降の、宗派間対立が継続するとともに、シーア派モスク等への攻撃の責任を多国籍軍に転嫁する動きが継続</li> </ul>	5/5修正 5/12修正 5/12修正 4/13修正
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続</li> </ul>	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在</li> <li>●新政府での所望の閣僚ポストを獲得できない場合、強硬路線に転換する可能性</li> <li>●地方選挙に向けサドル派民兵とパドル組織の緊張が高まる可能性</li> </ul>	8/28追加 4/29修正 1/14追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> <li>●簡易爆弾・車両爆弾、友軍相撃、ロードバイク、子供飛出し</li> <li>●カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生</li> <li>●移動中のコンボイに対する車両爆弾の可能性</li> </ul>	7/23追加 7/22追加
タリLAB	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空港への曲射撃及び離発着航空機に対する攻撃に警戒</li> </ul>	9/30追加
トレンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南東部における遠隔操作簡易爆弾が増加</li> </ul>	

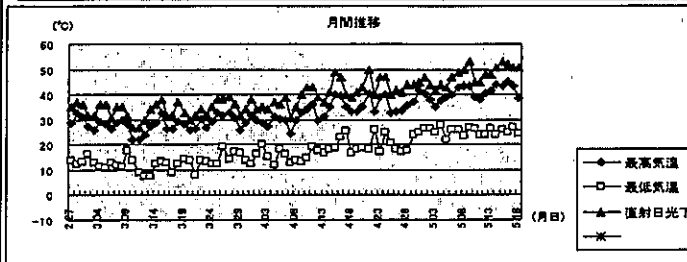
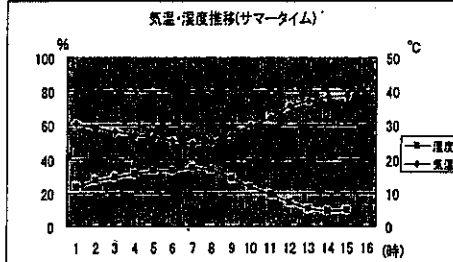
ムサンナ県の全般情勢評価(5.18)-1		
(5月12日変更)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●比較的安定、しかしながら油断は出来ず</li> <li>●知事、元評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的</li> <li>●イラク治安部隊の治安維持能力が向上しつつある。</li> <li>●サマラでのモスク爆破以降のシーア派モスク等への攻撃の責任を多国籍軍に転嫁する動きが継続</li> <li>●簡易爆弾技能者が流入したおそれがあり、今後、爆発成形弾等の高性能な簡易爆弾を使用した攻撃が行われる可能性</li> </ul>	9/30修正 10/9追加 4/13修正 5/12追加
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低いが、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり。</li> </ul>	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 (サドル派民兵が支持獲得のため反多国籍軍姿勢を強める可能性)</li> <li>●新政府での所望の閣僚ポストを獲得できない場合、強硬路線に転換する可能性</li> <li>●サドル派民兵はねっかえりが宿営地に対する曲射攻撃などの反多国籍軍行動をとる可能性</li> <li>●県統合オペレーション・センター及びその周辺での活動並びに 'Cooperative Zone' (イエロー・ゾーン)への立入要領に関連して、英豪軍、日本隊等に対するRPGを含む直射兵器や簡易爆弾による攻撃が行われる可能性</li> </ul>	1/14追加 4/29修正 1/14修正 4/29修正

ムサンナ県の全般情勢評価(5.18)-2		
(5月12日変更)		
区分	内容	備考
部族関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宿営地警備等の雇用の増大、復興支援活動の誘致を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報</li> </ul>	2/20修正
デモ関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ムサンナ県の政治情勢は依然流動的であること、雇用問題、燃料値上げ等により民衆の不満が高まる可能性があることから、デモ発生の可能性は依然存続</li> <li>●5月以降の電力事情の悪化が、高値で推移する燃料代や気温の上昇と相俟って、デモや暴動を引き起こす可能性</li> </ul>	12/20修正 5/12追加

## 現地の気象情報

### 報告内容

明日の日の出 : 0600(サマータイム)  
 明日の日の入 : 1951  
 明日の月齢 : 21.5  
 明日の月出沒 : (出19日0100~没19日1130)  
 本日の天候 : 晴れ  
 本日の気温 : 最高38.7°C最低24.5°C  
                   : 最高51°C(直射日光下)  
 本日の平均湿度 : 24.1%  
 本日の風速 : NW 4~6m/s



## 10月5日(水)の予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	隊長の行動	0600 0615	J31、J32行動証明について(仰決)	
		0740 0750	就業長報告	
		0815 0830	作戦会議	
		0900 0915	21日J任務経緯等について(仰指)	
		0915 1300	宿営地内勤務	
		1300 1400	TV全履	
		1445 1500	活動命令(索)(仰決)	
		1500 1600	20日行動証明について(仰指)	
		1605 1635	デイリーミーティング	
		0815 0830	作戦会議	

10月23日(水) 23日(水) 24日(木)

**10月23日(水) 23日(水)**

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1x	第10次隊長の行動	0815	作戦会議	
		0830		
		0830	宿営地内勤務	
		1300		
		1400	TV会議	
		1400		
		1600	宿営地内勤務	
		1605		
J2	業務支援隊長の行動	0815	作戦会議	
		0830		
		0830	宿営地内勤務	
		1300		
		1400	TV会議	
		1400		
		1600	宿営地内勤務	
		1605		
		1635	デイリーミーティング	
		1635		
1655	隊デイリーミーティング			

**10月24日(木) 24日(木)**

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J31	人員輸送	別示	宿営地 発 タリルA B 着 タリルA B 発 宿営地 着	LAV(G)×4 LAV(GJ)×2 HWV(G)×3 特大型(HS)×1
J32	人員輸送	別示	宿営地 発 タリルA B 着 タリルA B 発 宿営地 着	LAV(G)×6 LAV(GJ)×3 HWV(G)×3
Jx	第1波の行動	0600	KW出国	
Jy	10次隊第2波(第2-第4班隊)の行動	0800 1600	CV(移動準備等)	
J201	GRF(A)			
J202	GRF(B)			

1032B100 (K) 001 532

コード	行動名	時程	活動内容等	車両
S6☆	役割警備員配置	19日 1130～ 1930～ 20日 0530～	宿营地～運河警戒位置～宿营地	
S8☆	宿营地内防産	0830～1200	#0ゲート#1・2・3ゲートトイレ及び仮設所～宿营地内トイレ及びゴミ焼却場	中型(Med)×1
S9	統制教育	1850～1900	10次群第2波第1梯隊到着後の警備教育等	
S11☆	警 衛	[Redacted]	警 衛	[Redacted]
		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
S12☆	浄水活動(運 河)	0730～0900	大量送水システム点検・始動	LAV(HS)×1

1032B100 (K) 001 532

コード	行動名	時程	活動内容等	車両
S13a	宿营地内工事、作業	0830～1600	宿营地散水	
S13b		0830～1600	ゴミ回収	
S13c		0830～1600	屎尿汲み取り	
S13d		0900～1600	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13e		1230～1600	コンテナ整理(ドレックス)	
S13f		1300～	コンボイ作業	
S13g☆		0730～0830	ゲート給油	LAV(HS)×1 大型(HS)×1
S13h☆		0800～0900	汚水処理	大型(HS)×2 LAV(G)×1
S15	群主力の行動	0800 1600	宿营地内活動	
S16	空中監視活動	19日 0830～	空中監視活動	
		20日 0830		



10次群2次偵察訓練支援(操縦訓練)

クウェート分遣班	バックグッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> <li>10次群2次偵察訓練支援(操縦訓練、IED教育)</li> <li>装備品交付・回収支援</li> <li>ナビスタ国境通過支援</li> <li>キャンプバージニアにおける管理支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整</li> <li>情報収集</li> <li>COA調整会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報要求対応</li> <li>定例情報収集</li> <li>定例会議出席</li> <li>MJLC会議参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報要求対応</li> <li>各種業務調整</li> <li>各種ミーティング等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整</li> <li>情報収集</li> </ul>

治安情勢

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
  - 各部隊の申し送りに際しては、基本・基礎の確行に留意し、自衛隊の常勤的事項を愚直に実行するようにせよ。
  - 望外勤務も混成で実施していると思うが、特に夜間の車両運行に関するノウハウをしっかりと申し送り、安全運行に注意してもらいたい。

警備態勢

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項
  - “現場の部隊に如何に良い環境を与えるか”が作戦の役割であるので、形ありきではなく、現場の部隊に一番良い環境を与えるという観点で良くチェックしてもらいたい。10次群の隊員は、疑問があれば9次群の隊員に確認し、解消する期間としてこの申し送り期間を有効に活用するよう心掛けてもらいたい。

ワルカポンプステーション完成点検及びワルカ付普通道完成点検後の確認



水道管の取り付け状況を確認する様子

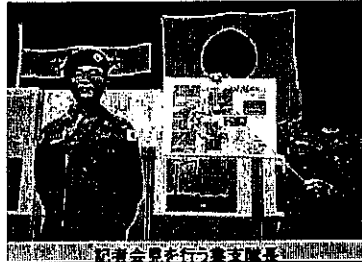


道路の幅員を測る施設科隊員

ブサイヤ井戸供与式

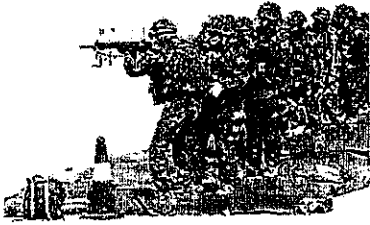


テニフカットの様子



記者会見を行う東支隊長

10次群第2波、慣熟訓練



小銃射撃訓練の様子



識字教育(アラビア語)の様子

ナビスタ国境通過支援



ナビスタ国境においてドライバーと調整するクウェート分遣班



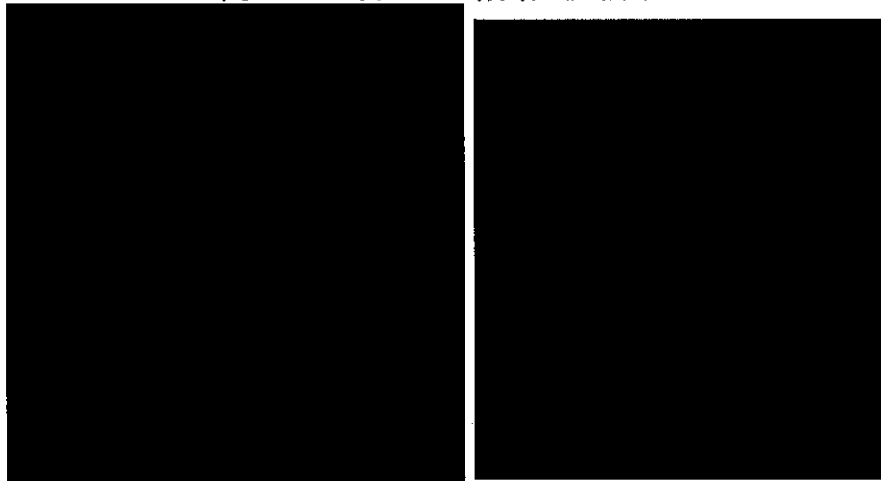
バグダッドLO日々業務報告(5月18日1830)



区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 [Redacted] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [Redacted]、バグダッド及びモスルは [Redacted]、ラマディは [Redacted]
2 特記事項	[Redacted]
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) COA調整会議
5 その他(備考)	

別紙

5月18日付JAM情報最新版



評価



JAM Update: 18 May

Assessment:

バグダッド 日誌 (5月18日)

○再会の誓い

最近部隊交代が激しく、バグダッドに到着以来親しくしていた仲間が次々に帰国してしまう。

昨日、日本コンテナによく遊びに来ていた米海兵隊員がバグダッドを出発して帰国の途についた。


は、沖縄のキャンプ・フォスターからイラクに派遣されており、家族は沖縄に住んでいるそうである。第4次バグダッド連絡班の時から仲が良く、下手な日本語で一生懸命に我々に語りかけてくれる。いつも馬鹿をして我々を笑わせてくれていた。ニック・ネームで「クレイジー・マリーン」と呼んでいたが、同僚からも同じように「クレイジー」と呼ばれており、本当に明るくて、面倒見の良い海兵隊員であった。

帰国前に日本隊コンテナにわざわざ挨拶に来てくれ、皆で記念写真を撮った。日本コンテナの前には前任者が東京・サマーワ・ニューヨークの方位と距離を示した矢印板があり、そこが記念写真を撮る場所として多国籍軍の中でも人気のスポットとなっている。そこで、クレイジー・マリーンは、「俺は沖縄に帰るのでニューヨークではなく、東京の方に帰るんだ。」と東京の方を指さして、皆でスナップ写真を撮った。

「イラクでの任務完遂おめでとう。帰国おめでとう。」と口々に日本隊から言葉をかけると、いつも冗談ばかりやっていた彼が、「皆さんは、ステイ・セーフです。皆さんが帰国したら沖縄で会いましょう。」と肩を抱き合って再会を誓いあった。

掃り隊、見事な「敬礼」をしてサヨナラを言った。我々も敬礼を返し、後ろ姿を見送った。

ここでの勤務の醍醐味は良い仲間と巡り会えることに尽きる。また新たな仲間が、我々のコンテナを訪問してくれるのを楽しみにしている。

 <span style="float: right;">●</span>	
<b>バスラLO日々業務報告(5月18日1900)</b>	
区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9図像統一会議 (4) MJLC (多国海軍統合兵站会議) 参加準備 (於シャイバ基地)
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) MJLC会議参加 (於シャイバ基地)
5 その他(備考)	

MND-SE管内の状況	

## バスラ日誌 (5月18日)

- 1 昨日1755から、バスラ航空基地エアポートにおいて、先日のヘリコプター墜落事案で亡くなられた5名の方のご遺体を、本国へ送還する儀式が執り行われた。今回も参列者への統制は最小限で、現地において説明があった後、すぐに式が開始された。従軍牧師の先導で、バグパイプの音色が響くなか、各々の棺を6名の兵士が担ぎ、航空機の手前に安置した。殉職者の名前を1人ずつ読み上げ、それぞれに対し、全員で折りの言葉を捧げた。全ての折りが終わり、ラッパ吹奏に合わせて敬礼し、式は終わった。約1時間の儀式であったが、哀悼の気持ちを込め、心からご冥福をお祈りした。
- 2 上番3日目(1月25日)の患者後送時、患者を一時シャイバ兵站基地に後送する事になり、同行医官と連絡が取れなくなって、車両でシャイバに行ってくれないかという依頼があったことがある。IEDの脅威があるため、基地の外に車を出ることは禁じられていたが、群長の許可があれば行きますと答えた。行くことになれば自分1人で行くつもりだったが、私も行きますと班員が言ってくれた。(連れて行くつもりはなかったが。)今思えば、拳銃しか持っていないし(車両移動時の小銃携行義務有)、車両の単独移動はMND(SE)も禁じているので、行くとすれば英軍エスコートの調整も必要だっただろう。結局、シャイバの医務室に下手な英語で電話して、日本隊の患者が運ばれてくるので、同行医官に、この電話番号に電話するよう伝えてくれと連絡して事なきを得た。電話1本で済むことを、何であんな厄介な方法を考えていたのか今思えば笑い話であるが、その時は真剣だった。  
ヘリ移動にも危険が伴うし、師団長表彰などは先任者が同行した方が良いだろうということで、サマワ等への移動は私が実施することにしてはいたが、何もない時には、そろそろ班員にも機会を見つけて行かせてあげようかと考えていたところ、ヘリ墜落の情報が2件続いた。英軍ヘリについては確定していないが、その可能性が高いようである。本日、MJLC代理参加のため、シャイバ兵站基地に行ってくるが、できれば、あの時の医務室に響いて御礼を言ってきたと思う。ヘリ移動だし、シャイバはBASよりIDF攻撃を受けているのでちょっと嫌な感じが、
- 3 本日晴後曇り一時雨(雷)。バスラ4名、極めて健康。

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし Threat Level I
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマワ市内の治安情勢、デモ関連情報、英軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 明日以降の豪軍支援要請関連、群長・支隊長等キャンブスミッティ訪問関連、 サマワ宿営地訪問関連、等サマワ宿営地訪問関連、 整備関連、CIMIC関連、TFMからの依頼事項関連、変更関連等 (3) 各種ミーティング等 英軍軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE2:IPA(小火器)0830~1400 RANGE4:英軍(小火器)0800~1800

<b>クウェート分遣班業務報告</b>		18. 5. 18
<b>全 般</b>		
<input type="radio"/> 国内情勢等： <input type="radio"/> 人員・武器等：異状なし <input type="radio"/> 人員報告：所属人員24名、事故人員0名、現在員24名、中補員×1名	<input type="radio"/> 天候：晴れ <input type="radio"/> 気温：0700 33℃(37℃) 1100 43℃(48℃) ( )は直射日光	
<b>本日の行動</b>		
恒常業務・その他		
<input type="radio"/> 10次群2波偵察訓練支援（射撃訓練・語学教育） <input type="radio"/> 弾薬及び装備品交付・回収支援 <input type="radio"/> 9次群1波の部隊貨物輸送 <input type="radio"/> 部隊展開支援準備	<input type="radio"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="radio"/> コンボイ準備 <input type="radio"/> 現金組替	
<b>明日の予定</b>		
恒常業務・その他		
<input type="radio"/> 9次群1波（111名）クウェート出国支援 <input type="radio"/> 9次群2波1梯隊（48名）クウェート受入 <input type="radio"/> 10次群2波1梯隊（60名）サマーワ展開支援 <input type="radio"/> 10次群2波偵察訓練支援（操縦訓練・IED教育）	<input type="radio"/> 装備品交付・回収支援 <input type="radio"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="radio"/> キャンプバージニアにおける管理支援	
<b>その他(教訓・要望事項等)</b>		
<input type="radio"/> キャンプバージニア宿泊者 250名（10次群×242名、9次群×6名、葉支隊広報要員×2名） <input type="radio"/> マリーナホテル宿泊者 112名（9次群×111名（クールダウン）、葉支隊カウンセラー×1名）		

<b>クウェートLO日々業務報告(5月18日1900)</b>		●
区分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報（危険情報）：クウェート全土「十分注意」（N/C）	
特記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	1 連絡調整等 9次群1波帰国支援  2 情報収集 特記事項なし。	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 10次群3波受入準備  2 情報収集	
その他	なし	